

11月 10

令和6年度国立自然史博物館誘致 沖縄シンポジウムの開催

「日本初の国立自然史博物館を沖縄に！自然史の大博士大集合！博士が語る凄い生き物たち」と題し、沖縄市民会館で「国立自然史博物館誘致シンポジウム」を開催しました。

照屋副知事は主催者あいさつで「国立自然史博物館は自然史科学の拠点となる施設であり、国際的にも大きく貢献するとともに、沖縄の生物多様性の重要性の発信や、子どもたちの学力向上、沖縄観光の魅力強化につながる事が期待されます」と述べました。

詳しくは、県の特設サイトをご覧ください。



照屋副知事による主催者あいさつ

11月 13

北部地域の大雨に係る被災現場確認 および関係3村からの要望

玉城知事は、北部地域の大雨による被災現場を確認しました。東村では国道331号および有銘川の護岸崩壊の状況、国頭村では県営林道大国線と村道比地線の法面崩壊などの状況を確認したほか、被災された住民の方々の声を直接伺いました。

国頭村、大宜味村および東村からは、生活物資等の費用助成や県道等の早期復旧、県職員の派遣などの要望があり、知事は、直ちに対応するよう関係部局に指示しました。

北部地域の1日も早い復旧に向けて、市町村の要望を踏まえながら県として全力で支援に取り組んでいるところです。



国頭村、大宜味村および東村からの要望

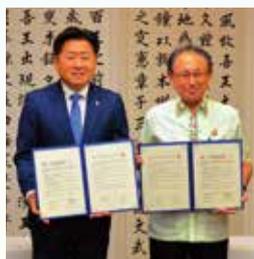
11月 14

韓国済州特別自治道と「友好協力都市協定」を締結

沖縄県と韓国済州特別自治道は、両地域の相互理解と友好を促進し、共同发展を図るため、「友好協力都市協定」を締結しました。

本協定には、両地域が、平和、文化、スポーツ、経済、青少年分野などにおける交流拡大に努めること、相互の観光活性化に向けて積極的に協力すること、再生エネルギー分野での情報共有に努めることなどが示されています。

締結式で玉城知事は、済州特別自治道との友好協力都市協定の締結を機に、互いに連携・協力を進め、ともに地域の平和と発展に貢献することを希望すると述べました。



11月 20

シンポジウム 「国連特別報告者と考えるPFAS問題」

国連特別報告者であるマルコス・A・オレリャーナ氏を沖縄に招へいし、シンポジウムを開催しました。



シンポジウム会場の様子

シンポジウムにおいては、PFAS問題の国際的な潮流に関するオレリャーナ氏の基調講演のほか、同氏や玉城知事、有識者、メディア関係者を交えたパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、日本国内のPFASの状況、世界各国と比較した沖縄のPFASの状況などについて話し合われました。当日は、数多くの来場者があり、PFAS問題や基地問題に関する国連の専門家の視点を多くの県民が知る貴重な機会となりました。

1 2025 JANUARY

美ら島 沖縄

vol.592 ちゅらしま おきなわ

- 02 年頭のご挨拶
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：「沖縄県」この一年
- 06 沖縄産業クロニクル [情報通信・IT編]
- 08 県職員の人材確保 明日の「沖縄県」を一緒に創る！（県職員の募集）
- 09 県の動き1 「2025年農林業センサス」が実施されます
県の動き2
令和7年(2025年)4月から建築物に関するルールが大きく変わります！
- 10 てくてく わがまちさんぽ [座間味村]
- 11 県の動き3 高校生が考える「人権」フォーラム
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4 おきなわ花と食のフェスティバル2025開催！
- 15 読者プレゼント・広報課から1月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き

2024年11月1日現在

146万7,671人
総人口 ※前月比606人増加

65万2,407世帯
世帯数 ※前月比1,032世帯増加

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-government



沖縄県庁広報課
公式X(旧Twitter)
@okinawa_pref



今月の表紙

「本部町 寒緋桜」

寒風が吹く1月の空を明るく彩る寒緋桜。とびきり鮮やかなピンクの花々とかわいいメジロの姿に気持ちがあみまします。



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

[美ら島沖縄の設置場所] [美ら島沖縄]



県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々ご利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



募集

公立学校臨任教職員・非常勤講師

令和7年度の登録はこちらから▶

